

2月1日 岩国人絹町しろへび駅伝大会



Iwakuni City Topics | まちの話題 しろへび駅伝大会



2月1日、東中学校をスタート、ゴールとし、東地区の市街地を駆け抜ける「岩国人絹町しろへび駅伝大会」が開催されました。この大会は地域の活性化を目的に始まったもので、規模の拡大などで運営が困難になり中断された時期もありましたが、昨年リニューアルして再開されました。

今年は小学生から一般までの5部門に106チームが参加し、それぞれのチームのタスキを少しでも上の順位でつなごうと、熱戦を繰り広げました。

沿道には多くの市民が詰め掛け、寒さを吹き飛ばす選手の熱い走りに「がんばれ〜」「ラストっ!」といった大きな声援を送っていました。



錦川清流線で初詣！

1月4日、錦川清流線を利用して宮島町の巖島神社に初詣を行う「新春初詣列車」が運行されました。錦川清流線の利用拡大のため毎年恒例で行われている初詣列車は今回で35回目を数え、錦・美川地域を中心とした錦川流域の住民106人でにぎわい、今年一年の無病息災を祈願した参加者は昼食を共にし、親睦を深めました。



もっときれいな字が書けますように！

1月6日、周東中央公民館で「新春書き初め会」が開催され、小・中学生77人が参加しました。初めは騒然としていた会場も徐々に真剣な空気に包まれ、児童生徒たちは「はる」「平和」「豊かな心」など定められた題目に一筆一筆丁寧に筆を走らせ、自らが納得のいく作品を書き上げていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



郷土かるたで真剣勝負

1月12日、玖珂こどもの館で37回目となる「玖珂郷土かるた大会」が開催され、幼稚園児と小学生約70人の選手と読み手の中学生や保護者が集まりました。地域の文化や歴史を伝える「玖珂郷土かるた」を前に、選手は日頃の練習の成果を発揮して、学年ごとに真剣勝負の熱戦を繰り広げていました。



1億円が登場！？ 租税教室

1月13日、美和西小学校で6年生を対象に「租税教室」が行われました。次の世代を担う児童に税の使い道や役割を学んでもらおうと毎年開かれており、税金クイズなど楽しく税金の大切さを学びました。児童は、実際の1億円と同じ大きさ、重さのレプリカに「1億円、重すぎる！！」と興味津々な様子でとても喜んでいました。



これであなたも パン職人！

1月19日、本郷保健センターで、「手作りパン教室」が行われました。シンプルで基本的なパンをテーマに、参加者は生地が裏表があることや、生地を分ける回数は少ないほうが良いなど、プロから教わらないと分からないコツを教わりました。「ふっくらツヤツヤ」で美味しそうな4種類のパンが焼き上がりました。



5年に1度の奇祭

1月18日、由宇町清水地区で5年に1度行われる「清水山の神祭り」が開催されました。これは、五穀豊穡を祈り村人を守る祖霊を森に迎える祭事で、神木の檜^{かし}と杉を神とあがめて行われます。縄文時代の焼畑耕作の風習などを留めており、学術的に価値が高く、県の無形民俗文化財に指定されています。



僕が掘ったんだよ、このレンコン

2月6日、尾津町のれんこんほ場で「岩国れんこん掘り取り体験」が行われました。地域の特産物である「岩国れんこん」への理解を深めてもらおうと開かれたもので、20人の市民が参加しました。参加者は、ぬかるんだ泥に足を取られながらも、大きく立派に育ったレンコンを次々に掘り取っていました。



江戸、明治へのいざない

1月20日、錦ふるさとセンターで、にしき生涯学習講座よろず学問所「花燃ゆ^{ふみ}～文の生涯～」と題した講演会が開かれ、地元住民43人が参加しました。NHK大河ドラマ「花燃ゆ」のヒロイン・文^{ふみ}の生涯を通して山口県の幕末から明治の歴史について楽しく学び、参加者はより身近に時代の息吹を感じたのではないのでしょうか。